

礼拝メッセージ (9月2日)

『信頼関係』～主により頼んでいますか?～ 【Ⅱテモテ 2:10～13, Ⅰペテロ 2:5～8】

人は「信頼」する事で「安心」を得、そしてその安心は私たちの「希望」へつながります。結婚・仕事・恋愛……。私たちの日々、安心を求めて生活しています。「安心」を得るためには「信頼関係」を築く必要がありますが、最近人は人と信頼関係を築く事が大変難しくなっています。うまく信頼関係が築けない原因として、私たちの周りを取り巻く情報にあります。人間関係が希薄になりがちな私たちにとって耳や目に入ってくる情報はとても大切なものになっています。日頃、何気なく耳に入ってくる情報、毎日のニュース。当たり前で、私たちには何も影響がないように見えますが、この情報は私たちの心に種となって残ります。そして、その情報と同じような事を目にした時、その情報の種と目に入ってきたものとが一致したかのように思え、私たちの判断基準になってしまう場合が多いのです。特に私たちにとってマイナスな事は容易に想像しやすく、その情報を通して私たちの心の中に疑いの心や憎しみの心などのおかしな感情が生まれてしまうのです。それが信頼関係の破壊につながっているのです。この世で最初の信頼関係の破壊は、アダムとイブでした。食べてはならない木の実を食べてしまい、愛し合っていた2人は、自分の自己義の為にお互いのせいにしあいました。私たちも日々の生活の中で同じような事をしているのではないのでしょうか?信頼関係が壊れると私たちは自分を守ろうとしてあらゆる所から自分にとって都合の良い情報を集めようとします。こういう行為が「自分さえよければいい」という罪につながっていくのです。これでは信頼関係とは逆の方に進んでしまうのは皆さんも理解できると思います。あなたは今、愛されている実感がありますか?これが薄くなっているとしたら要注意です。人を信頼し、また人からも信頼される姿こそが、あなたの本来の姿です。神様が用意されている計画は、私たちを通して周りの人が幸せになるものですから、自己中心のままでは私たちも周りの人も幸せになる事ができません。私たちが自分の事ばかりにとらわれてしまうのは人間には自己中心の罪があるからです。信頼関係を回復させるには自己中心を取り除かなければなりませんし、取り除く為には信頼関係の回復が必要です。その解決はあなたにあります。自らが変えて行かなければ何も変わりません。私たちが信頼関係を自らが回復して行ける為に**①心を静める**。(イザヤ 30:15～18) 私たちの環境はあまりにもあわただしすぎます。あなたの経験から考える事だけが全てではありません。ましてや、ざわついた心のままではまともに考える事もできません。まず主の前に静まりましょう。主の前に静まると心を落ち着かせる事ができます。**②心をゆだねる**。あなたには「これなら信頼できる」というものがありますか?今までは裏切られたかもしれない、でもいつまでも心を閉ざしているままでは信頼関係を回復させる事はできません。もし神様がいたら、私たちをお創りになった方が私たちを知らないわけがないのです。あなたが閉ざしている部分を心を開き主に心をゆだねてみましょう。**③結果はゆだねる**。(詩篇 37:5) 結果をゆだね前進する事ができれば、必ずあなたに希望が与えられます。この3つのポイントを是非、自らで実行してみてください。信頼関係に満ちた人生を歩みましょう。今日、神様は信じる心を与えようとして下さっています。